



東京都立 **世田谷総合高等学校**

学校紹介



教育課程、授業について

総合学科とは？

普通科

共通教科・科目を中心に学ぶ

専門学科（工業、商業など）

専門教科・科目を中心に学ぶ

総合学科

共通教科・科目と専門教科・科目にわたる
幅広い選択科目の中から自分で選択し学ぶ



高校には、勉強する教科・科目の違いから、大きく3つの学科があります。

普通科高校では、国語、数学などの共通教科・科目を中心に勉強します。

専門学科高校では、工業や商業などの専門的な教科・科目を中心に勉強します。

総合学科高校では、これらの両方を幅広い選択科目の中で勉強することができます。

本校は、単位制の総合学科高校です。

自分の進路希望や興味・関心に合わせて、一人一人異なる「自分だけの時間割」をつくることができます。

また普通科高校では学ぶことができないような専門的な科目を学ぶことができ、自分の将来をしっかりと考え、準備できるのです。

教育課程の概要 ～学校案内5ページ～

カリキュラム（令和3年度版）

※ カリキュラムは変更になる可能性があります

1年次には必修科目と、芸術選択科目を選んで学習します。

※ 美術は美術系進学クラスの美術αと一般クラスの美術βのどちらかを選択します。

年次	単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年次	教科名	国語		公民		数学			理科		保健体育		芸術※		外国語			家庭		情報		キャリアデザイン	LHR								
	科目名	国語総合		現代社会		数学Ⅰ			数学A		化学基礎		体育		保健		音楽Ⅰ 美術Ⅰ 工芸Ⅰ 書道Ⅰ		コミュニケーション英語Ⅰ		英語表現Ⅰ			家庭基礎		社会と情報					
						習熟度別授業					少人数授業		1科目を選択		習熟度別授業					チーム ティーチング		チーム ティーチング									

2年次には必修科目と、基礎的科目を自由に選んで学習します。

年次	単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年次	教科名	国語		保健体育		外国語			総合選択科目・自由選択科目（18）																		総合的な探究の時間 人間と社会		LHR		
	科目名	現代文B		体育		保健		コミュニケーション英語Ⅱ																							
				少人数授業		習熟度別授業																									

3年次には必修科目と、発展的科目を自由に選んで学習します。

年次	単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
3年次	教科名	国語		保健体育		外国語			総合選択科目・自由選択科目（18）																		総合的な学習の時間 課題研究		LHR		
	科目名	現代文B		体育		コミュニケーション英語Ⅲ																									
				少人数授業		習熟度別授業																									

こちらは、本校の教育課程の概要です。

1年次は、必修科目を多く設置し、基礎学力の定着を図ります。

2年次からは、必修科目が減り、1週間の約3分の2、18時間が「選択科目」の時間になります。

選択科目は100科目ほどあります。多くの選択科目の中から、自分の希望進路や興味関心に応じて、自由に授業を組み合わせることができます。それが、「自分だけの時間割」となります。

そうは言っても、沢山ある科目の中から時間割を作ることは容易ではありません。1年次の「キャリアデザイン」という授業や、2年次での「総合的な探究の時間」やLHRを利用して、自分の将来に対する認識を深め、受講する選択科目を決めていきます。

総合選択科目 関連科目をまとめ、6系列に分類

情報デザイン IT、コンピュータグラフィックや情報モラルなどを学ぶ科目群

ライフデザイン 健康、福祉、人に関する学び、芸術等を学ぶ科目群

ものづくり 美術・工芸や工業、ものづくりなどを学ぶ科目群

コンピュータグラフィックス	情報の表現と管理	ワープロ	表計算応用	マルチメディア	CAD
ホスピタリティ	手話	アンサンブル	キーボード基礎	キーボード	服飾手芸
スポーツI、II、III、IV	子どもの発達と保育I、II	生活と福祉	フードデザイン	ファッション造形基礎	ファッション
ライフスポーツ	スポーツ概論	トレーニング			
クラフトI、II	デジタルデザインI、II	デザイン基礎	素描I、II	絵画I、II	陶芸I、II
					ロボット
					コンピュータクラフト

こちらは、残りの3つの系列です。

やはり、こちらにも普通科高校では勉強できない専門的な科目がたくさんあります。

コンピュータで設計・加工を行うCAD（キャド）、コンピュータグラフィックス、保育、陶芸、デザイン、など・・・

自由選択科目 大学入試のための演習科目

大学入試
対応

大学入試に対応できる力を
身に付ける演習科目

英文法演習
英語読解演習
生物演習
化学演習
物理演習
数学Ⅱ・B演習
数学Ⅰ・A演習
政治・経済演習
世界史演習
日本史演習
古典演習
現代文演習

総合選択科目（6系統）と
自由選択科目を自由に選択
して・・・

そして、これらの6つの系列に加え、大学入試に対応できる力を育成する自由選択科目があります。

このような選択科目を自分の進路に応じて組み合わせ・・・



進路に応じた自分の時間割を作ることができる

1年次には必修科目と、芸術選択科目を選んで学習します。

年次	単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年次	教科名	国語		公民		数学		理科		保健体育		芸術		英語		家庭		情報		キャリアデザイン		LHR									
	科目名	国語総合		現代社会		数学Ⅰ		数学A		化学基礎		体育		保健		音楽Ⅰ 美術Ⅰ 工業Ⅰ 普通Ⅰ		英語Ⅰ		基礎		社会と情報		キャリアデザイン							

2年次には必修科目と、基礎的科目を自由に選んで学習します。

年次	単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年次	教科名	国語		保健体育		外国語																									
	科目名	現代文B		体育		保健		コミュニケーション英語Ⅱ																							

3年次には必修科目と、発展的科目を自由に選んで学習します。

年次	単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
3年次	教科名	国語		保健体育		外国語																									
	科目名	現代文B		体育		コミュニケーション英語Ⅲ																									

2年、3年の時間割に組み込み、自分の時間割を作ることができるのです。

授業形態の工夫

- ◎ 習熟度別授業
数学Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- ◎ 少人数授業
体育、選択科目講座（一部）
- ◎ ティームティーチング
社会と情報、キャリアデザイン
- ◎ 市民講師の活用(令和2年度実績13名)
- ◎ 美術系進学希望クラスの設置
1年次の芸術選択で選択可能

次は、授業形態の工夫についてです。

必履修科目のうち数学と英語は習熟度別授業を実施しています。

また、体育と選択科目講座の一部で少人数授業を行っており、1年次の社会と情報とキャリアデザインではティームティーチングを行っています。

さらに、陶芸や茶道・華道、コンピュータグラフィックスなど一部の選択科目では外部の専門家を市民講師として招き、より高度で専門的な講座も設置しています。

1年次の芸術選択は、音楽・美術・書道・工芸から1つを選択しますが、美術の場合には、さらに一般クラスと美術系進学希望クラスのいずれかを選択することができます。

教育課程は学校ごとにまったく異なります。

特に総合学科では、自分の進路や興味関心にあった講座があるかどうか为学校選びのポイントの一つになります。

どんな講座が設置されているか、各学校の案内を見比べてみてください。「教育課程、授業について」の説明は以上になります。



生活指導、制服、
学校生活について

本校の生活指導の柱

- ◎挨拶の励行
- ◎時間管理・情報管理の徹底
- ◎身だしなみ規定の順守
- ◎いじめ等の未然防止

本校の生活指導の柱をお話します。

本校は「挨拶を交わす」ことを大事にしています。どんなときでも自分から挨拶ができるよう、普段から声掛けを行っています。また、本校はノーチャイム・ノー放送制です。授業の移動など、すべて自分で時間の管理を行います。また、生徒自身がエントランスホールの掲示板で授業や委員会の案内等を確認することで情報の管理も自主的にできるよう指導しています。

身だしなみ指導では頭髪を染めることや加工を禁止しています。また、化粧することやピアス・アクセサリーなどの装飾品を身につけることはできません。身だしなみは、相手への敬意を表するものであり、同時に、その人となりを表すものです。その部分を大事にしています。

いじめ防止については、実態調査アンケートを年3回実施しています。これまでのところ、いじめがあったという事案はありません。ただし、常にいじめが起こり得る可能性があるということを視野に入れながら注意深く観察しています。

制服 制服の着方を基本とし、「身だしなみ」を厳しく指導

男子

ブレザー
スラックス
ネクタイ

女子

ブレザー
スカートまたはスラックス
リボンまたはネクタイ

男女共通

指定ベスト（白・紺）
指定セーター（黒・紺）
指定ポロシャツ（白・紺）



制服



制服（夏服・略装）

制服についてご紹介します。

学校案内の裏面にありますとおり、

男子は、ブレザー、スラックス、ネクタイ

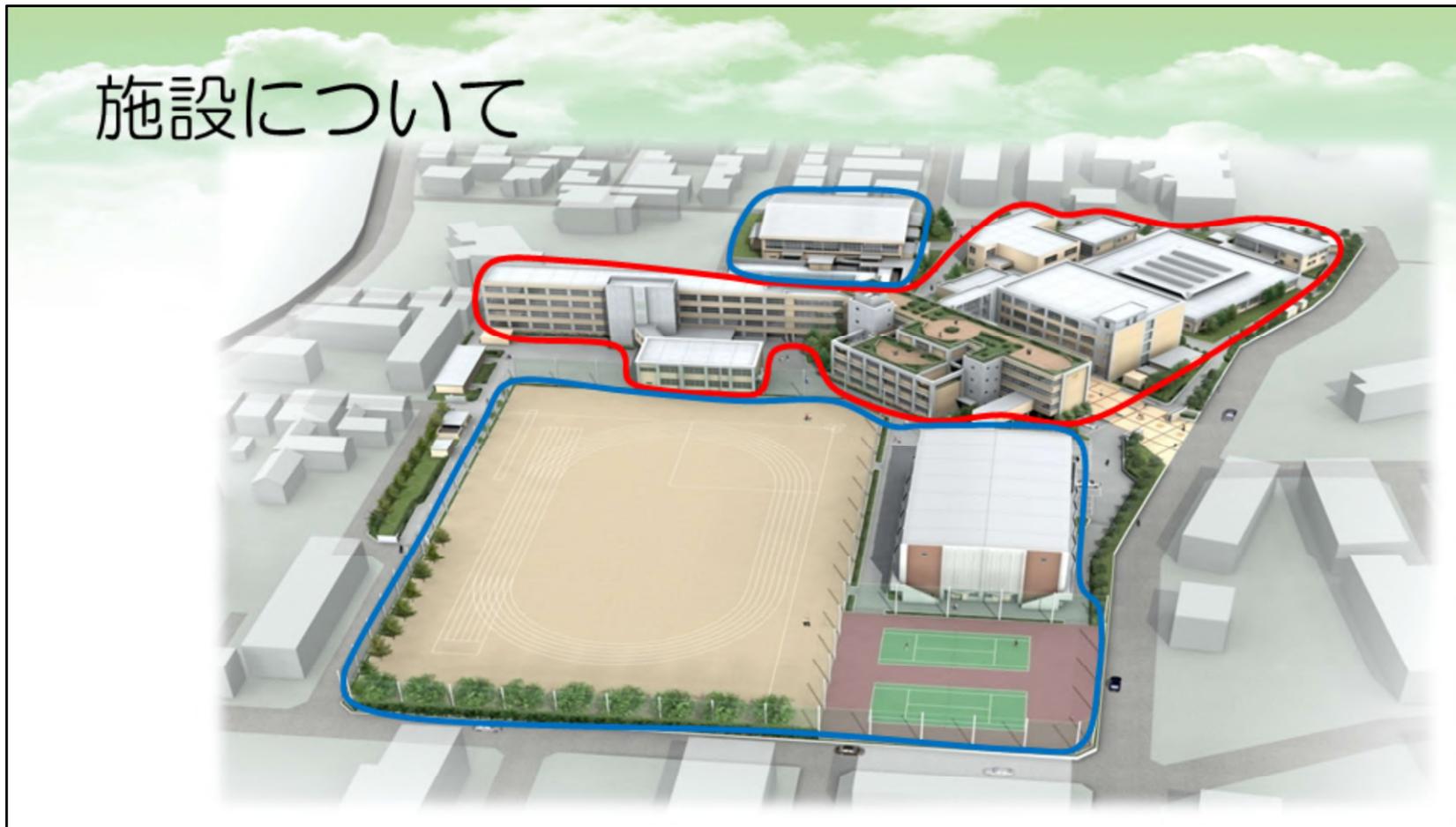
女子は、ブレザー、スカートまたはスラックス、リボンまたはネクタイ となっています。

また、男女共通で、指定のベスト（白・紺）と指定のセーター（黒・紺）を着用することができます。

5月から10月は、夏服（略装）期間となり、写真右側のような服装となります。

また、今年度からは、夏の略装としてポロシャツ（白・紺）が導入されました。

施設について



施設についてご紹介します。

本校の施設は、大きく、9つの建物群と体育関係施設に分けることができます。

赤で囲った部分が建物、青で囲った部分が体育関係施設で、大変広い敷地を有しています。

施設について



建物では、2、3年生のHR教室や進路室・職員室・会議室などがある「本館」、理科関係の実験室や保育実習室・福祉実習室などがある「南館」、1年生のHR教室や図書館・自習室などがある「東館」の3つ
また、ものづくり関連では、レーザーなどの専用加工機がある「ものづくり棟」、全面北窓の自然光を生かした絵画・デッサン専用の「特別棟」、電気ろくろや電気釜を備えた陶芸のための「陶芸棟」、ロボット実習などの「電子技術棟」の4つ
そして情報関連では、コンピュータグラフィックの本格的な実習ができるMac室のある「情報デザイン棟」、家庭科関連の実習教室のある「ライフデザイン棟」があります。

施設について



体育関係施設では、2つある体育館のうち大きな「第1体育館」、オムニの「テニスコート」が2面、サッカーの公式戦ができる広さの「グラウンド」、第1体育館より少し小さい「第2体育館」、そして「プール」があります。
区部の都立高校としては、大変充実した施設となっています。

年間行事

4月	入学式・フレッシュマンセミナー（1年） 校外学習（2・3年）	10月	受講登録本調査（1・2年） 定期考査Ⅲ
5月	生徒総会・定期考査Ⅰ	11月	授業公開・課題研究発表会
6月	体育祭・授業公開・宿泊防災訓練 受講登録説明会（1・2年）	12月	定期考査Ⅳ・修学旅行（2年） 冬期講習
7月	定期考査Ⅱ・生徒会役員選挙 夏期講習・部活動合宿	1月	入試相談会
8月	学習合宿・夏期講習	2月	絆音祭（合唱祭）
9月	翠風祭（文化祭）・面談週間	3月	卒業式・定期考査Ⅴ・春期講習

主な学校行事を紹介します。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった行事もありますが、例年このような行事があります。

4月は、年次ごとでの行事が主で、1年次は入学後すぐにフレッシュマンセミナーという一泊二日の宿泊HR合宿を行います。

グループになって、どんな高校生活を送りたいか、などを話し合い、またクラスや全体で発表します。

6月に体育祭があります。学年横断で団が形成され、縦のつながりができる行事です。約7割の生徒が応援団に所属し、自分たちで考えた踊りやパフォーマンスを競い合って、盛り上がります。

7月から8月には、夏期講習や学習合宿が行われ、自分の進路に向けて学力向上をはかります。

9月に文化祭があり、舞台発表、展示、アトラクション、調理などクラスごとに工夫して発表します。夏休みから準備を重ねて完成度の高いものを目指します。

文化祭後、面談週間で相談を重ね、10月には、1、2年生の授業の受講登録の時期となります。

12月に2年次生は沖縄に修学旅行にまいります。

2月には最後の3大行事、合唱祭が行われます。1、2年次生がクラスごとに気持ちを合わせて練習した成果を競います。

そして、3月には、卒業式を迎えます。

部活動

□運動系

軟式野球	ソフトボール
陸上競技	バドミントン
男子サッカー	弓道
女子サッカー	剣道
男子硬式テニス	ダンス
女子硬式テニス	水泳
男子バレーボール	
女子バレーボール	
男子バスケットボール	
女子バスケットボール	

□文化系

吹奏楽	写真
演劇	美術
クッキング	軽音楽
科学	文芸
伝統文化	放送
漫画研究	コーラス

□同好会

百人一首 クリエイト
トレーニング

部活動の紹介です。

運動系16、文化系12、同好会3の部活動が日々活躍し、全国大会に出場した実績のある部活もあります。

体育館が2つあり、広いグラウンドとテニスコートがあるという恵まれた環境の中で、約8割の生徒が部活動に所属し、練習に励んでいます。

特に、ダンス部や女子サッカー部は、文化・スポーツ等特別推薦での募集があることもあり、近年の活躍には目を見張るものがあります。

皆さんも、ぜひ応募してください。

これで「生活指導、制服、学校生活について」の説明を終わります。

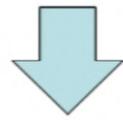


進路指導、進路状況について

本校の進路指導の柱

○学力向上に向けた支援

○キャリア教育の推進



1人ひとりの進路実現



本校の進路指導では、「学力向上に向けた支援」と「キャリア教育の推進」の2本の柱で一人ひとりの進路実現を図っています。

学力向上に向けた支援とは？

- 週末課題
- 学習記録等の様々な振り返り
- 学習合宿（2年次）
- 土曜寺子屋
- 年間3回～5回の模擬試験
- 自習室
- 各講習・補習

学力向上に向けた支援には、次のような取り組みがあります。

○週末課題：新聞や時事雑誌からの記事を要約、思考することで、社会理解力や情報理解力を育成します。また、日常生活で役に立つことや社会課題への視野の拡大を図り、自己の課題研究作成に対する基礎的な力を身に付けることが期待されます。

○学習記録等の様々な振り返り：Classiを利用し、ポートフォリオ作成を通して、生徒の自己評価を継続的に実施することにより、主体性を育成し、またポートフォリオの蓄積により、生徒が自己の学習活動や様々な活動記録を認識するとともに、進路実現に役立つ資料とすることができます。また、学習記録等を付けることで、学習習慣の定着を図り、学習管理により勉強時間の増加や学習効率の改善に効果を上げることができます。

○学習合宿（2年次）：主に大学への進学を希望する2年次生に向けて、勉強方法についての講演会や、大学入試レベルの発展的な内容の講義を行い、進学を希望する上級学校で必要とされる学力の向上を図ります。また、自らの進路目標を定め、進路に対する意識を高めたり、自らの学習目標を設定し、学習計画を作成、実践することにより自己管理能力を高めたりすることができます。

学力向上に向けた支援とは？

- 週末課題
- 学習記録等の様々な振り返り
- 学習合宿（2年次）
- 土曜寺子屋
- 年間3回～5回の模擬試験
- 自習室
- 各講習・補習

○土曜寺子屋：生徒の「自学自習の習慣の定着」を目標に、定期考査直近の土曜日を中心に、生徒の学習の機会を設けています。生徒は各自学習に必要なものを持参し、定期考査へ向けての自学自習を行い、また講師に学習の質問や相談ができます。

○年間3回～5回の模擬試験：一人ひとりの進路に対応して、自分の現在持っている力を確認したり、不足している部分を理解したりする手立てとするため、また自分の進路実現に向けて、目標を立て、計画的に学習や準備を進める上での検討材料とするため、年間3回～5回の模擬試験を実施しています。

○自習室：本校には大小3つ自習室があります。自習室は、平日の朝から夕方18時まで、利用ノートに記入することで自由に利用できます。試験前や選択授業の空き時間に多くの生徒が利用しています。

○各講習・補習：長期休業中における学習支援を充実させ、自学自習の習慣を確立するため、また、基礎学力を固め、応用力を伸ばすことで、進路実現につながる確かな学力や生涯にわたって学び続ける意欲を育てるため、夏・冬・春の長期休業中の講習や学期中の補習を実施しています。

キャリア教育の推進とは？

本校のキャリア教育の目標

自己・他者・職業・地域・異文化に対する探究的な学びに取り組み、主体的・積極的行動力を養うとともに、社会に貢献しようとする態度や能力を育成する。

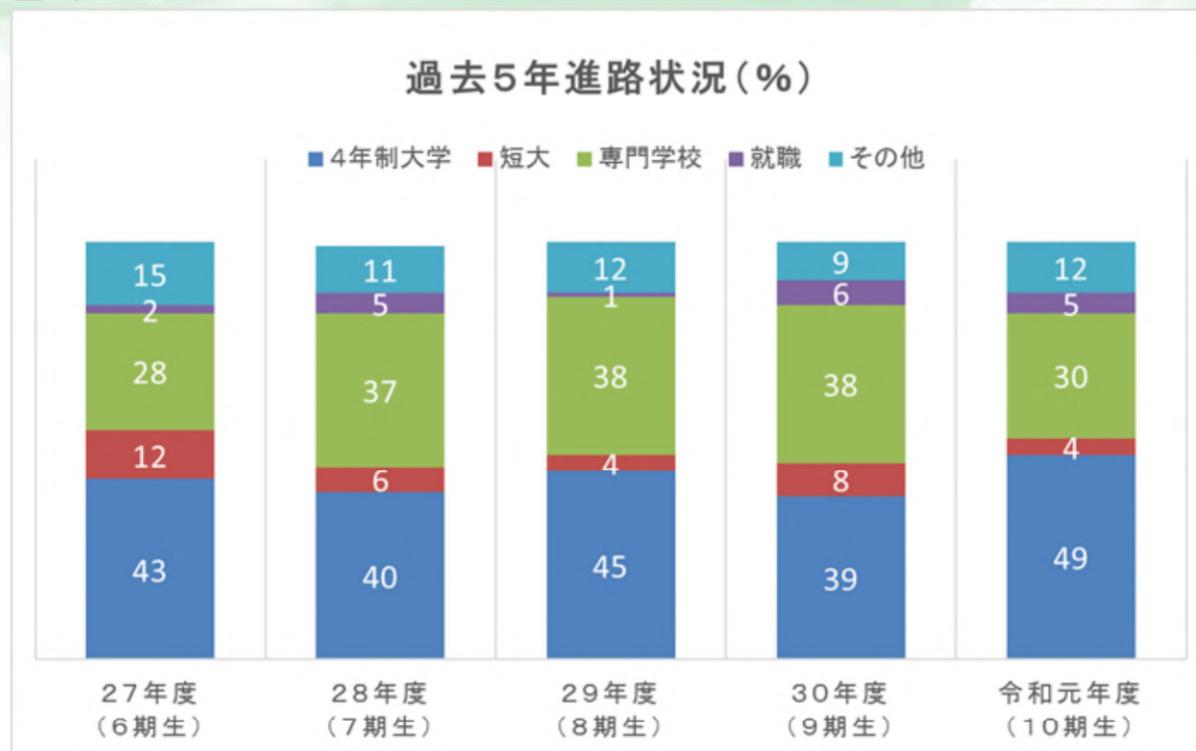
本校の系統的なキャリア教育、1年次の「キャリアデザイン」、2年次の「人間と社会」、3年次の「課題研究」を通じて、自分のあり方、生き方を考え、基礎的・汎用的能力、プレゼンテーション能力、表現力などを身につけることができます。

具体的には、1年次では「フレッシュマンセミナー」、「職業別進路講話」、「職業人インタビュー」などで自分の興味・関心・適性を知り、職業と社会の仕組みを学び、将来を考えます。

2年次では、「二子玉川商店街を盛り上げよう」、「企業訪問」などで他者や集団の中での自己の役割を知り、主体的・積極的な行動力を養います。

3年次では、「課題研究」などで、自分で選んだ課題で研究し、論文作成や作品制作を行います。

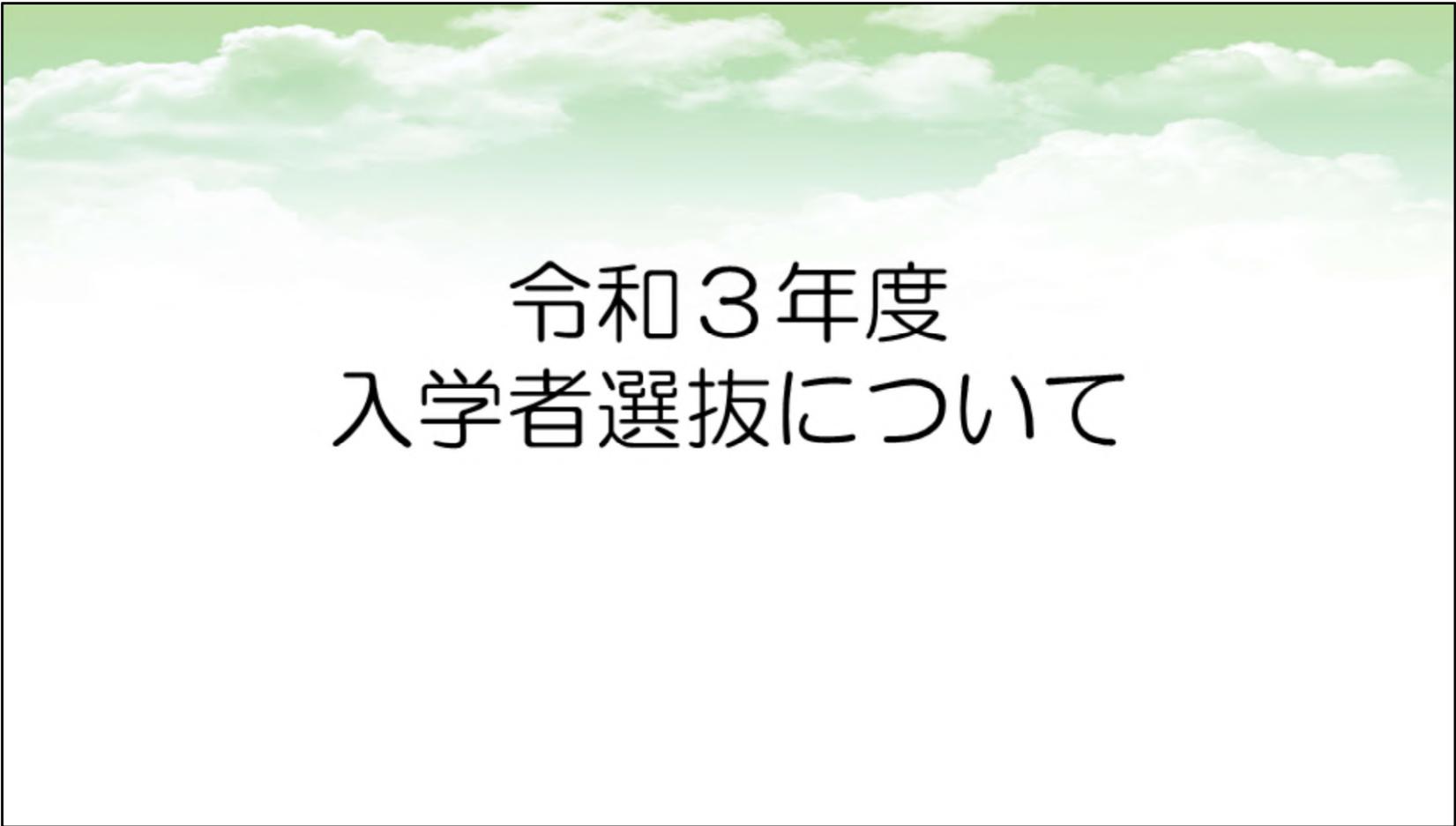
進路状況



過去5年間の進路状況は、グラフのようになっています。

多様な進路選択が可能ですが、その中でも、健康・福祉・保健関係、美術・芸術・デザイン関係、教育関係の4年制大学・短大への進学者が多くなっています。

以上で、「進路指導、進路状況について」の説明を終わります。



令和3年度
入学者選抜について

日程について（推薦に基づく選抜）

	推薦に基づく選抜 （一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦）
願書受付日	1月12日（火）～15日（金） 郵送により受付
実施日	1月26日（火）
合格発表日	2月 2日（火）
入学手続	2月 2日（火）・2月 3日（水）

日程についてです。

推薦に基づく選抜の日程は、

願書受付が、1月12日（火）～15日（金）までの郵送による受付となり、例年より一週間ほど早くなりました。

また、実施日は、1月26日（火）の1日のみになります。これは、今年度、「集団討論」がなくなったためです。

日程について（学力検査に基づく選抜）

	学力検査に基づく選抜(第一次募集)
願書受付日	1月29日(金)～2月4日(木) 郵送により受付
願書取下げ	2月12日(金)
願書再提出	2月15日(月)
実施日	2月21日(日)
合格発表日	3月 2日(火)
入学手続	3月 2日(火)・3日(水)

続いて、学力検査に基づく選抜の日程です。

願書受付は、1月29日（金）～2月4日（木）までの郵送による受付となりました。

実施日は、2月21日（日）です。

なお、二次募集は欠員が生じた場合のみ実施になります。

本校の期待する生徒の姿

本校は、「志高く総合的な人間力のDesign」をテーマに、理数探究教育、美術・ものづくり教育、グローバル人材の育成及び部活動の推進等に取り組み、人として魅力的に成長する個性あふれる生徒の育成を目指している。本校の教育理念・方針等について十分理解し、特色ある総合学科教育により自己実現に努める強い意志のある生徒の入学を期待する。

「本校の期待する生徒の姿」

本校は、「志高く総合的な人間力のDesign」をテーマに、理数探究教育、美術・ものづくり教育、グローバル人材の育成及び部活動の推進等に取り組み、人として魅力的に成長する個性あふれる生徒の育成を目指しています。

そして、本校の教育理念・方針等について十分理解し、特色ある総合学科教育により、自己実現に努める強い意志のある生徒の入学を期待しています。

本校の期待する生徒の姿

- 1 いずれの教科の学習も真剣な態度で取り組んできた生徒
- 2 中学校での学習において得意教科があり、入学後も本校の特色ある教科・科目の学習によってその力を伸ばそうと考えている生徒
- 3 生徒会活動や委員会・系の活動、部活動等における役割を、責任をもって果たしてきた生徒
- 4 学校外における文化・スポーツ、ボランティア等の活動や検定資格取得等において継続的に取り組んできた生徒

※特に、推薦選抜においては、上記項目1～4の全てに該当することが望ましい。

※「文化・スポーツ等特別推薦」においては、入学後3年間、部活動と学習を両立させ、他の模範となる生徒が望ましい。

具体的には次の4項目がポイントとなります。

- 1 いずれの教科の学習も真剣な態度で取り組んできた生徒
- 2 中学校での学習において得意教科があり、入学後も本校の特色ある教科・科目の学習によってその力を伸ばそうと考えている生徒
- 3 生徒会活動や委員会・系の活動、部活動等における役割を、責任をもって果たしてきた生徒
- 4 学校外における文化・スポーツ、ボランティア等の活動や検定資格取得等において継続的に取り組んできた生徒

特に、推薦に基づく選抜においては、「4項目全てに該当することが望ましい」と考えています。

また、「文化・スポーツ等特別推薦」では、部活動と学習の両立ができ、他の生徒の模範となる生徒が望ましいと考えています。

選抜方法

(1) 推薦に基づく選抜

定員・・・募集定員の3割

※文化・スポーツ等特別推薦を含む

① 検査実施日

1月26日(火)

一般推薦(作文・個人面接)

特別推薦(個人面接・実技) **※併願可能**

まず、推薦に基づく選抜についてご説明します。
推薦選抜では、一般推薦と文化・スポーツ等特別推薦があります。
定員は、募集定員の3割。男女合同定員です。

一般推薦では作文・個人面接、特別推薦では個人面接・実技を実施します。
特別推薦では、一般推薦との併願が可能ですのでご検討ください。

選抜方法（一般推薦）

② 一般推薦

a) 配点

調査書点	個人面接	作文	合計
500点	300点	200点	1000点

b) 検査項目・内容

検査	内容等
個人面接	入退室を含め約15分
作文	50分・600字程度

一般推薦についてご説明いたします。

配点はご覧の通りで、調査書点、個人面接、作文の総合得点で選抜します。

個人面接は、受検者の出願の動機・理由、興味・関心、適性、規範意識や自己PRカードの記載内容、中学校における諸活動の状況や将来の進路希望等をお確かめたり、質問の内容を的確に把握し適切に回答する能力や表現力等をみたりするとともに、これまでの経験を今後の高校生活に生かせる力があるかどうかを確認します。面接の時間は入退室を含め約15分です。

作文は、受検者の出願の動機・理由、興味・関心、適性、将来の進路希望等をお確かめたり、思考力、表現力等をみたりするために実施します。検査時間は50分で600字程度です。

過去に出題されたテーマは、本校ホームページに載せていますので、ご参照ください。

選抜方法（一般推薦）

c) 評価の観点

個人面接	作文
「思考力・判断力・表現力」	「構成力」
「コミュニケーション能力」	「表現力」
「動機・意欲」	「思考力」
「学校理解」	
「規範意識・生活態度」	

面接検査および作文における評価の観点はまだ決まっていますが、昨年度の例を参考に記載させていただきました。

選抜方法

③ 文化・スポーツ等特別推薦

昨年度に引き続き、令和3年度も

ダンス(男女)・サッカー(女子)

の2種目について特別推薦を実施します。

続いて、文化・スポーツ等特別推薦についてです。

昨年度に引き続き、令和3年度についても、ダンスとサッカーの2種目での募集となります。

選抜方法（文化・スポーツ等特別推薦）

a) 特別推薦の基準

種目	募集人数	特別推薦の基準
ダンス	男女・2	以下の全てに当てはまる者 ○中学校で3年間部活動に所属した者(ダンス部に限らない) ○入学後3年間ダンス部でリーダーシップを発揮し活躍が期待できる者 ○総合学科の特色を理解し、学校生活全般で他の生徒の模範となれる者
サッカー	女・2	以下の全てに当てはまる者 ○集団生活において、リーダーシップを発揮できる者 ○中学校で当該部活動を経験している者又は校外クラブチーム等で経験している者で入学後も本校の当該部活動に所属し3年間活動できる者 ○総合学科の特色を理解し、学業と両立することができる者

特別推薦の基準です。

募集人数は、ダンスは男女2名、サッカー女子2名です。

ダンスでは、中学校で3年間部活動に所属していることが条件となります。部活動の種目に関する縛りはありません。

サッカーでは、当該部活動または校外クラブチームでの競技経験が必須です。

なお、どちらも入学後に当該部活動に所属することが条件となります。

選抜方法（文化・スポーツ等特別推薦）

b) 配点

種目	調査書点	面接	実技	合計	備考
ダンス	500点	個人 200点	300点	1000点	
サッカー					(※)

(※) 基礎体力や技術・チームワーク・意欲を総合して判断する。

配点についてです。

どちらも、調査書点・面接・実技の比率が5：2：3で、満点は1000点となります。

面接については、ダンス、サッカーともに個人面接で実施されます。

選抜方法（文化・スポーツ等特別推薦）

c) 検査内容 〈ダンス〉

検査会場・検査内容	持ち物
体育館	運動着 体育館シューズ (ダンスシューズも可)
○課題曲に合わせた創作ダンス (ジャンルは問わない)	

検査内容についてです。

ダンスでは、課題曲に合わせた創作ダンスをしていただきます。

課題曲に関する資料の配布は、11月の学校説明会から開始します。

選抜方法（文化・スポーツ等特別推薦）

〈サッカー〉

検査会場・検査内容		持ち物
グラウンド	雨天時：体育館	運動着（防寒着） 運動靴（スパイク） 体育館シューズ すねあて （雨天時） ※必ず運動靴と体育館シューズの両方を 持参すること。
1 50m走 2 リフティング 3 ドリブル （コーンの間をジクザグドリブル） 4 ロングキック 5 シュート （ゴールキーパーはセービング、 キャッチング） 6 ゲーム形式 （応募人数に合わせて形式を設定する）	（雨天時） 1 シャトルラン 2 リフティング 3 ドリブル 4 シュート 5 ゲーム形式	

続いてサッカーです。

検査内容をご覧の通りですが、天候や応募人数によって種目や形式が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

選抜方法（学力検査に基づく選抜）

（2）学力検査に基づく選抜（一次募集）

- ① 検査実施日 2月21日（日）
- ② 配点

学力検査	学力検査	調査書	合計
国数英社理	700点 （※1）	300点 （※2）	1000点

（※1）5教科500点満点の換算点

（※2）国数英社理：1倍 他の教科：2倍

$5\text{教科} \times 5 + (4\text{教科} \times 5) \times 2 = 65\text{点満点を換算}$

最後に、学力検査に基づく選抜についてご説明します。

検査日は、2月21日（日）です。

学力検査と調査書の総合得点で選抜します。学力検査と調査書の比率は7：3で、満点は1000点です。

学力検査は5教科です。調査書の評定の扱いは、学力検査を実施しない教科を2倍で扱います。

選抜方法（学力検査に基づく選抜）

③ その他

a) 令和元年度以前の中学校卒業生である
受検者には面談を実施する。

b) 二次募集実施の場合

学力検査	学力検査	調査書	個人面接	合計
国数英	600点 (※3)	400点 (※4)	100点	1100点
(※3) 3教科300点満点の換算点 (※4) 国数英: 1倍 他の教科: 2倍 $3\text{教科} \times 5 + (6\text{教科} \times 5) \times 2 = 75\text{点満点を換算}$				

本校では令和元年度以前の中学校卒業生には面談を実施しています。

二次募集は、一次募集の結果、欠員が生じた場合のみ実施します。

学力検査、調査書、個人面接 の総合得点で選抜し、

得点の比率は6：4：1で、満点は1100点になります。

学力検査は国数英の3教科です。調査書の評定の扱いは、学力検査を実施しない教科を2倍して扱います。

個人面接は受検者全員が対象です。

入学者選抜 倍率データ

		推薦に基づく選抜				学力検査に基づく選抜				入学数計
		定員	応募数	倍率	合格数	定員	応募数	倍率	合格数	
平成30年度入学生 ()は特別推薦内数	男子	-	26(0)	-	11(0)	-	76	-	69	80
	女子	-	105(7)	-	61(4)	-	106	-	97	158
	合計	72(4)	131(7)	1.82	72(4)	164	182	1.11	166	238
平成31年度入学生 ()は特別推薦内数	男子	-	27(0)	-	13(0)	-	67	-	66	78
	女子	-	105(9)	-	59(4)	-	101	-	97	157
	合計	72(4)	132(9)	1.83	72(4)	164	168	1.02	163	235
令和2年度入学生 ()は特別推薦内数	男子	-	16(0)	-	5(0)	-	69	-	57	61
	女子	-	95(10)	-	55(4)	-	99	-	81	136
	合計	60(4)	111(10)	1.85	60(4)	136	168	1.24	138	197

こちらは、過去3年間の入試倍率です。

参考までにご覧ください。

主な変更点

項目	内容
(1) 出願手続 (入学願書等提出方法)	推薦及び学力検査(第一次募集)に基づく選抜において、入学願書等の書類は、志願者が都立高校へ持参して提出していたが、原則として郵送により提出する方法に変更する。
(2) 検査日時	推薦及び学力検査(第一次募集)に基づく選抜は、これまで1日又は2日で実施していたが、原則として1日で実施する。 また、学力検査(第一次募集)において、検査間の休憩時間を20分から30分に変更する。
(3) 合格者の発表	合格者の発表は、合格者の受検番号を都立高校内に掲示することにより行うこととしてきたが、これに加え、東京都教育委員会が設置するホームページの掲載も実施する。
(4) 推薦に基づく選抜	一般推薦における検査内容は、志願者全員に実施する個人面接のほか、作文を実施することとし、集団討論は実施しない。 また、文化・スポーツ等特別推薦の基準に、大会の実績や、資格・検定試験等の成績に関わる内容を含めず、「実績等を証明する書類等の写し」の提出も求めない。

入学者選抜の主な変更点を一覧にまとめました。

- (1)出願手続について：推薦及び学力検査（第一次募集）に基づく選抜において、入学願書等の書類は、原則として郵送により提出する方法に変更されました。
- (2)検査日時について：推薦及び学力検査（第一次募集）に基づく選抜は、原則として1日で実施することになりました。また、学力検査（第一次募集）において、検査間の休憩時間を20分から30分へ変更されました。
- (3)合格者の発表について：合格者の発表は、東京都教育委員会が設置するホームページへの掲載も実施されます。
- (4)推薦に基づく選抜について：一般推薦における検査内容は、個人面接と作文を実施し、集団討論は実施しません。
また、文化・スポーツ等特別推薦の基準に、大会の実績や、資格・検定試験等の成績に関わる内容を含めず、「実績等を証明する書類等の写し」の提出も求めないことになりました。

これで、令和3年度入学者選抜についての説明を終わります。